NEWS RELEASE

2026 年 11 月 12 日

報道関係各位

株式会社松尾研究所
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
V ポイントマーケティング株式会社

松尾研究所、CCC、V ポイントマーケティングの共同研究論文が データマイニング分野の国際会議 「IEEE ICDM 2026」併設ワークショップに採択

―大規模な購買履歴を生活者理解に活用、軽量な追加学習で多様な志向を予測―

株式会社松尾研究所（本社：東京都文京区、代表取締役：川上 登福、以下「松尾研究所」）、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長兼 CEO：髙橋 誉則、以下「CCC」）および V ポイントマーケティング株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員：廣田 精吾、以下「V ポイントマーケティング」）は、共同研究成果をまとめた論文『Predicting User Preferences with User Representations Pretrained from Large-Scale Retail Purchase Histories』が、データマイニング分野で世界的に権威のある国際会議「IEEE ICDM 2026」に併設される「International Workshop on Data Mining for Service（DMS 2026）」に採択されたことをお知らせいたします。



本研究では、大規模な購買履歴を用いて AI モデルを事前学習し、そこで得られた情報を、生活者の志向の予測に活用しました。基盤となるモデル全体を再学習することなく、志向ごとの軽量な追加学習によって、複数の志向について比較手法を上回る予測性能を確認しました。本研究の成果は、日々蓄積される購買データを、さまざまな生活者理解に活用するための共通基盤として役立てうることを示唆しています。

本論文が採択された「DMS 2026」は、生活者の行動理解やマーケティング、サービスの改善・創出など、サービス分野におけるデータマイニングの研究成果を議論する国際ワークショップです。本研究成果は、2026 年 11 月 12 日（木）に中国・瀋陽で開催される同ワークショップにて発表いたします。

・研究の背景

生活者一人ひとりに合った情報やサービスを届けるには、「何を購入したか」に加え、日々の暮らしにおける興味・関心を理解することが重要です。アンケートはこうした志向を直接把握できる一方、多くの生活者について幅広い項目の回答を継続的に得ることは容易ではありません。

一方、日々の購買履歴には、生活者の興味・関心を理解するための手がかりが含まれています。こうしたデータから学習した情報をもとに、さまざまな生活者の興味・関心を予測することができれば、蓄積された購買データの価値を引き出しながら、生活者理解の対象を効率的に広げることができます。

松尾研究所、CCC および V ポイントマーケティングは、生活者をより深く理解することを目指し、2025 年 9 月より共同研究に取り組んでまいりました。本研究では、大規模な購買履歴による事前学習と、その学習成果を再利用する手法の有効性を検証しました。

・論文の概要

本研究では、ドラッグストアの大規模な購買履歴を用いて、次の買い物で購入される商品群を予測する AI モデルを事前学習しました。その過程で得られる、生活者ごとの購買傾向を数値化した情報を「ユーザー表現」として活用し、アンケートで回答されたユーザーの志向を予測しました。志向予測にあたっては、事前学習済みのモデルを固定し、ユーザー表現から志向の有無を予測する小規模な予測モデルのみを追加で学習しました。検証の結果、Transformer を用いたモデルでは、さまざまな志向について、購買した商品カテゴリに基づく手法や大規模言語モデル（LLM）を用いた比較手法を上回る予測性能を示しました。モデル全体の再学習や予測モデルの複雑化を行わずとも、購買履歴から学んだ情報を複数の志向予測に有効に活用できることを確認しました。

さらに、事前学習に用いる購買履歴のデータ量を変えた比較では、データ量の拡大に伴って志向予測の性能が向上する傾向が見られました。この結果は、膨大な購買履歴を事前学習に活用することで、生活者の興味や関心を理解するための情報を引き出せることを示唆しています。

これらの成果は、大規模な購買データから学んだ情報を共通の基盤とし、予測したい志向に応じた軽量な追加学習によって、生活者理解の対象を広げていける可能性を示すものです。

※　本研究で使用したデータは、特定の個人を識別できる情報を含まない形に加工したうえで、各社のプライバシーポリシーに基づき、適切な安全管理措置のもとで分析しています。



・今後の展望

今後は、本研究で得られた知見を、購買データに基づく共通基盤の構築につなげ、一人ひとりの関心に応じた情報提供やサービス設計を実現することを検討してまいります。松尾研究所、CCC および V ポイントマーケティングは、引き続き「人を起点に考える AI」の研究・開発を進め、暮らしや社会に役立つ新たな価値の創出に取り組んでいきます。

「IEEE ICDM 2026」概要

「IEEE International Conference on Data Mining（ICDM）」は、データマイニング分野のトップカンファレンスの一つです。機械学習や深層学習、大規模データ分析など、データから有用な知識を見いだすための幅広い技術とその応用を扱います。同会議に併設される「DMS 2026」は、生活者の行動理解やマーケティング、サービスの改善・創出など、サービス分野におけるデータマイニングの研究成果を議論する国際ワークショップです。

IEEE ICDM 2026 特設ページ：https://icdm2026.neu.edu.cn/

・株式会社松尾研究所について

株式会社松尾研究所は国立大学法人 東京大学大学院 工学系研究科 松尾・岩澤研究室に伴走し、大学を中心としたイノベーションを生み出す「エコシステム」を作り、大きく発展させることを目的に設立された研究所です。松尾研究所は、アカデミアから生み出される研究成果・技術の「開発・実装」を行い、広く社会に普及させることを目指し、日本の産業競争力の向上に貢献しています。

https://matsuo-institute.com

・カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社について

「カルチュア・インフラを、つくっていくカンパニー。」をミッションに、企業向けには知的資本を活用して課題解決を目指すソリューション事業、パートナーシップを通じて新たな価値を生み出し、新しい事業機会を創出するコンサルティング事業を、そして生活者向けには新たな価値を提供しながら知的

資本を蓄積するリテール＆スタイル事業を展開しています。

・V ポイントマーケティング株式会社について

1.3 億人以上（有効 ID 数）の V 会員基盤を活用したデータドリブンマーケティングにより、購買データの分析を通じてオンラインとオフラインを横断する高精度なアプローチを提供しています。顧客属性や購買・行動傾向を深く分析し、効果検証まで一貫して実施することで、より効果的なマーケティング活動の実現に貢献してまいります。

報道関係者からのお問い合わせ：

株式会社松尾研究所
広報担当：pr@matsuo-institute.com
問い合わせフォーム：https://matsuo-institute.com/contact/

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
広報部　TEL：045-522-8154／MAIL：inquiry@ccc.co.jp
問い合わせフォーム：https://www.ccc.co.jp/info/press/

Vポイントマーケティング株式会社
経営企画・広報グループ　TEL：045-522-8174／MAIL：vpmkpr@vpoint.co.jp
問い合わせフォーム：　https://www.vpoint.co.jp/contact/press/